
~ catch the my freedom of human foolish ~

空海陸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

catch the my freedom of human foolish

【Nコード】

N6225E

【作者名】

空海陸

【あらすじ】

違う世界で同じことを考える者たち 彼らは「自由」を求めている。 「自由」を掴んでいたりする者。 そんな、彼らの想いを書いた短編小説。

ある、異世界からきた者が言った。
風を司る者が言った。

仲間がいない、誰もいない夜空の下で言った。

「人には、自由がない…。

人は、上にいる人には逆らえない　なぜ、同じ人なのに、そう
やって競い合うのだらう。

そして、一人では生きていけない、弱く、悲しい生き物がなぜ、こ
の世界に産まれてきたんだらう　。」

風を司る者は、そう言って真下にある、夜の黒に少し染まった緑
の芝生横になって、空を見上げた。

「人以外の生き物は、困難を乗り越え、一人で強く育つけど、数は
少なく、けれども自由。人は、弱く、それでも数が多い。そして、
一人では生きていけなく、自由がない　。」

俺は、自由になりたい。風みたいな、鳥のようなどこまでも

行ける力が。

そう思いながら彼は眠りについた。

彼の名は、シュウ

異界から願いを求めて来たもの

。

同時刻 内乱が、あつたかのように街が荒れているなか、高い建物、時計台だろうか、その一番上に一人の人間と一匹の猫がいた。その人間と猫は、人間の方は髪が老人のように全て白く、右目には眼帯、眼の色はどうみてもただの人間とは思えない紫色をし、一方猫の方は、ただの白い猫に見えるが、額には十字架のような傷、悪魔のような黒い羽、黒い眼をし、両方ともこの世にいる者たちで

はないとわかった。

「…人には、自由がない…。そんな気がするのオレだけか？」

荒れた街を見下ろしながら白い猫は言った。それを聞いた、白髪
の人間　青年は冷静な態度で、言った。

「なんだよ…いきなり…、まあ、そうだな。昔の俺がそうだった
しな。」

「どんな感じなんだ？…俺たちは、そんな感じを味わったことがな
い。」

猫はそう言うと、羽休めさせ、時計台の塀に降りた。白髪の青年
は、猫が降りた同じ塀に肘をついて、ため息をついた。

「…子供には、学校に行く義務…、大人には、生活を守る義務…、
この世界には義務ばっか。それに子供は、大人に従わないと…って
当たり前か、お前の世界でも。」

「ああ。子供は、よく言って、育てるため、悪く言えば従わないと
いけないんだがな。」

「…けど、大人はさらに上にいる人間に従わないといけない。…だ
から、これは上にいる人間に従われて起こった内乱…。」

「…上にいる人間に従われている人間ロボットか…。」
「従わないと、殺される…。人は、人のためじゃなくて、国のため
に戦っている…、それがこの世界の昔からの起こりだ。」

「昔のものがいい…それが、人間の思考だというなら、やっぱ人間
は愚かだな。そのせいで、奴らには自由がない。」

「俺は今は、この生活に自由があって楽しいと思うぜ。…どこまで
も行ける。」

「ふっ…オレもだ。」

二人の会話が途切れると、荒れた街は月に照らされ光っていた。

“ウ~~~~ツ”

また、静かになったと思ったその時、サイレンが聞こえた。それを聞いた、二人は、急に危機感を感じた。

「…そろそろ戻るか。任務は終わってるし。」
「ああ。」

二人の“白”が月に輝いているなか、時計台の塀を背に向け、気がつけば二人はいなくなり、そこには黒い空間だけが残り、そしてそれもすぐに消えた。

彼らは、この世界の民ではない。彼らは、この世界から追い出された者たちの一部の人間。そしてその一人は 陸という“人間”。

違う世界で同じことを考える者たちがいた。人を、見て「自由」になりたい者たち 1人は、自由を求めて仲間と共に

旅をする者、もう一人は人の苦しみから自由になった者、そして人間を愚かと思うもの。

(後書き)

XXX吸血鬼作者の空海陸です。

まだ連載の方が終わってないのに短編を書いた理由は

「どうしても書きたかった！」という事です。

この中に出てくるキャラはサイトの方に書いている方のキャラたちですが、まだ未連載のキャラもでてます。

進んでないキャラを、分からないのに出すなんて…こんな作者で申し訳ないですorz

けどこんな作者でも

「頑張ってください」という言葉をもらえるとそれは作者の唯一勇気の源です。

そして、これからもこんな作者ですがよろしくお願いしますm)

— (m)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6225e/>

~ catch the my freedom of human foolish ~

2010年10月17日03時50分発行